

TOWCO., LTD.

第 4 9 期 事 業 報 告 書

(2024年7月1日から2025年6月30日まで)

株式会社テー・オー・ダブリュー

証券コード:4767

To Our Shareholders

株主の皆様へ

平素は、当社事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は2025年6月30日をもって第49期（2024年7月1日～2025年6月30日）を終了いたしました。本報告書をお届けするにあたり、株主の皆様にご報告とご挨拶を申し上げます。

社会・生活のデジタル化や健康意識の高まりなどを背景に、生活者の価値観や行動様式は多様化しています。さらに、環境問題・少子高齢化・地方創生などの社会課題を抱え、今後も社会環境や企業活動は変化し続けていくと考えられます。

この変化し続ける社会環境の中で、企業として持続的な成長を果たすために、私たちは「新しい時代の体験を創る」を掲げ、グループ全社一丸で「体験のプロフェッショナル」として顧客・生活者・社会に貢献していくことを目指していきます。

このパーパスの実現に向けて、当社は「事業成長」と「基盤強化」に取り組み、持続的な成長を目指しています。

2025年6月期は、事業成長においては、情報通信、食品・飲料のリアルイベントやハイブリッドイベントが伸長、官公庁・団体の大型イベントに加えて、大阪・関西万博も寄与し、前期比で堅調に推移しました。また、グループ会社との連携により、映像・デジタル領域の提供体制が強化され、事業ポートフォリオの多様化も進展しました。今後もリアルやデジタルなど様々な方法を駆使し、「体験」を創り出し、人々に感動や共感、ワクワクを届け続けていきます。

基盤強化においては、サステナビリティ方針である「社員一人一人が創り出す体験を通じて企業課題・社会課題に向き合い、持続的に成長する会社へ」に基づき、人的資本経営を中心とする取り組みを推進しておりますが、2025年6月期に発覚した労働制度運用に関する不備を機に、組織全体の運営体制や風土を見直し、ガバナンス体制の強化と企業倫理の浸透を図るため、代表取締役副社長チーフガバナンスオフィサー兼グループCHROを新たに設置し、労働制度の改定や体制強化、意識・文化のアップデートに取り組み、持続的な成長につなげてまいります。

今後も、当社グループは「新しい時代の体験を創る」企業として、社会や生活者に寄り添い、感動と共感を届ける体験価値を提供し続けるとともに、全てのステークホルダーの皆様とともに、持続可能な成長と企業価値の向上を目指してまいります。引き続き、株主の皆様の変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2025年9月
代表取締役社長 村津 憲一

新しい時代の体験を創る

どんなに時代が変化しても人と人が存在する限り、「体験」は自由自在にかたちや役割を変え、生活者や社会に寄り添い、人のココロとカラダを動かす。我々は、リアルやデジタルなど様々な方法を駆使し、「体験」を創り出し、人々に感動や共感、ワクワクを届け続ける。



社員一人一人が創り出す体験を通じて企業課題・社会課題に向き合い、持続的に成長する会社へ

Business Summary

事業概況

49期業績（連結）

- 情報通信、食品・飲料のリアルイベントやハイブリッドイベントの伸長、官公庁・団体の大型イベントに加えて、大阪・関西万博も寄与し、前期比で堅調に推移。
- 持続的な成長に向けて、積極的な人的資本への投資、事業成長に向けたAI関連など重点テーマへの費用投下を継続し、販管費及び売上原価に占める人件費は増加。
- 高付加価値の提供によるフィー型業務の拡大やグループ内製化により、収益力を維持し、経常利益は前期比で伸長。
- 2025年7月15日に公表した労働制度運用に関する是正措置対応に伴い、特別損失5.8億円を計上。

	2024年6月期		2025年6月期		前期比
売上高	17,503	-	17,782	-	+1.6%
売上総利益	2,939	16.8%	3,183	17.9%	+8.3%
販管費	932	-	1,030	-	+10.5%
営業利益	2,006	11.5%	2,152	12.1%	+7.3%
経常利益	2,058	11.8%	2,194	12.3%	+6.6%
特別損失	3	-	583	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,405	8.0%	1,132	6.4%	-19.5%

(金額単位：百万円)

売上高・経常利益推移（連結）

- 2025年6月期においては、コロナ禍における特定のBPO業務影響を除いて、売上高・経常利益は過去最高



※2020年6月期、2021年6月期のグレー部分はコロナ関連の特定BPO業務

(金額単位：百万円)

Business Summary

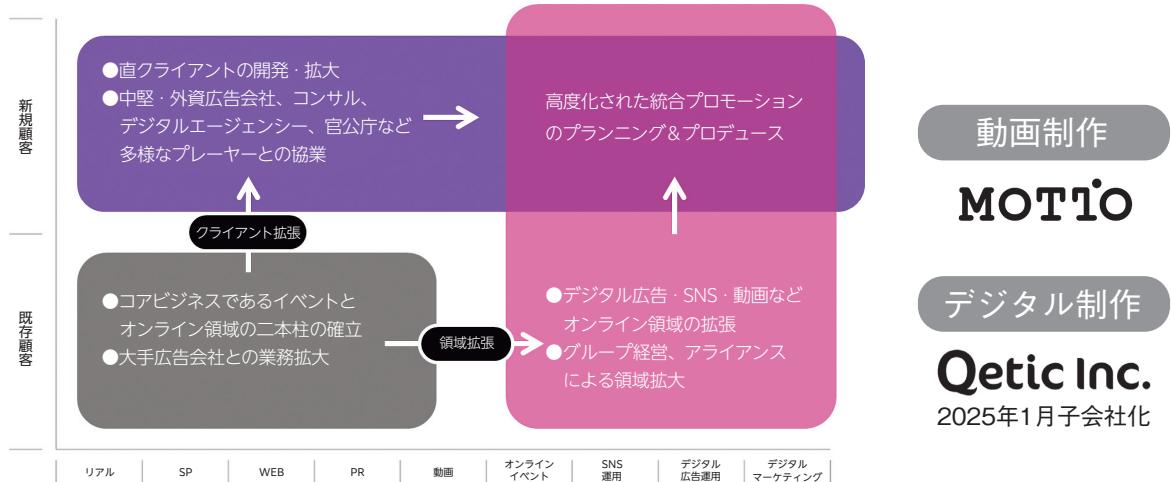
事業概況

事業戦略

当社では、クライアントの拡張と領域の拡張の「2軸の拡張」を事業戦略として掲げております。

第49期においては、Qeticをグループ体制に迎え入れ、2023年に合流したCM・映像制作会社MOTTOとともにグループ体制の強化を行い、事業戦略の実現を目指しております。

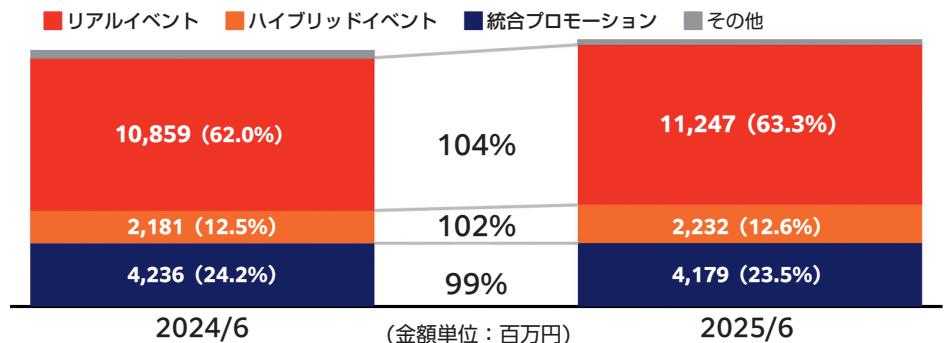
【“クライアントの拡張”と“領域拡張”2軸の拡張による事業成長】



カテゴリー別売上高

この事業戦略のもとで、「リアルイベント」、「ハイブリッドイベント」、「統合プロモーション」の3つのカテゴリーで分類し、各カテゴリーでリアルとデジタルを駆使したプロモーションをクライアントへ提供し、クライアントの事業への貢献を目指しております。

第49期においては、大阪・関西万博へのリソース集中の影響から統合プロモーションが前年比横ばいとなりましたが、リアルイベント、ハイブリッドイベントについては堅調に推移しました。また、グループ体制の強化による映像業務やデジタル業務の増加も、今後に向けての好材料となりました。



Works

案件実績

リアルイベント

プロジェクションマッピングやポップアップショップ、展示会や発表会などリアルな空間で行われるイベントです。主力の飲料、化粧品などに加え、万博や行政が主催するイベントなどにより好調となりました。また体験価値最大化を目指したデジタルや映像を活用したイベントも増加しました。



Tachikawa Twinkle Garden



日本生命大阪・関西万博-人生ゲームREBORN in 2050-



ハイブリッドイベント

オンライン環境で視聴・参加できるイベントで、オンライン上のみで展開されるものと、リアルとオンラインを組み合わせるイベントがあります。近年では、IPコンテンツにおけるファン向けイベントなどでリアルな体験と幅広いリーチを両立するハイブリッドイベントが定番化しています。



17LIVE シャイニングスター-vol.8 -Neo-



統合プロモーション

リアルイベント、デジタルコンテンツ、TVCMを含む動画、SNS、デジタル広告、PRといったリアルとデジタルの様々な手法を組み合わせる統合プロモーション。第49期は映像プロモーションが増加したほか、デジタルや動画を起点にリアルイベントを組み込んだ統合プロモーションが増加しました。



イオンモール川口前川2025年リニューアル施策



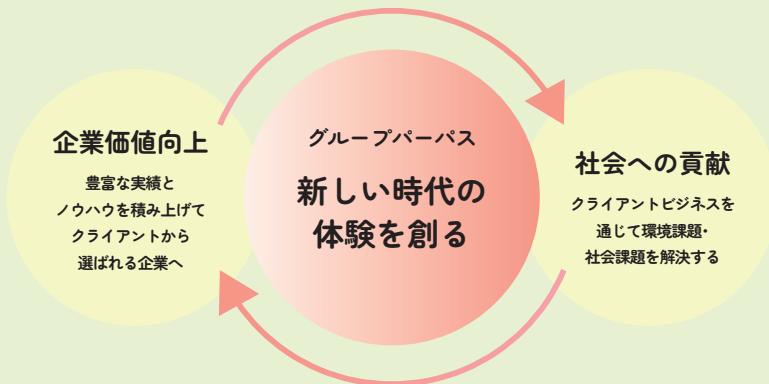
adidas Originals
[THE ORIGINAL LIVE TOUR TOKYO 2025]

Sustainability

サステナビリティ

社員一人一人が創り出す体験を通じて
企業課題・社会課題の解決に取り組み、
持続的に成長する会社へ

クライアントビジネスを通じた持続可能な社会への貢献により、
実績やノウハウを積み重ね、社会から選ばれる企業へと成長します。
サステナビリティ方針のもと、4つのマテリアリティの課題に取り組み、
持続的な成長を目指しています。



マテリアリティ1 新しい時代の体験を創る多様な人材

働きやすさの
実現

多様な人材の活躍・成長及び、定着・増加が必要不可欠であると考え、社員の生き生きとした活躍を支える環境と仕組みをアップデートしています。第49期においては、労働時間削減や従業員向けランチサービスなどの取り組みを行い、従業員サーベイでのモニタリング、社員面談なども強化し、離職率の低下につながっています。

やりがい・
成長の支援

当社では、社員育成の強化や評価制度の改定などにより多様な社員の活躍促進を強化しており、SDGs・女性向け・若年層向けマーケット拡大を背景に、若手・女性の活躍が増えています。また、近年では継続的な待遇改善を合わせて推進し、社員一人ひとりがやりがいをもって働ける環境づくりを進めています。

平均年齢

31.6歳

単体：2025年6月末現在

女性比率

41.8%

連結：2025年6月末現在

女性管理職比率

16.7%

単体：2025年7月現在

労働時間の減少

-6.3%

単体：昨対比

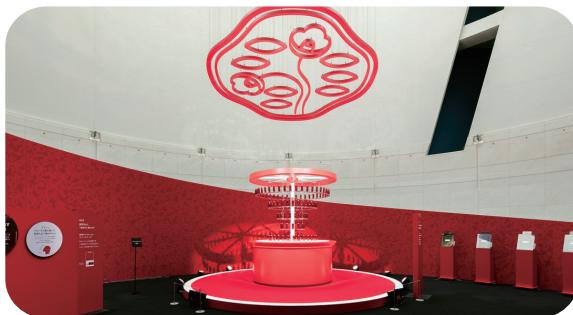
新卒者3年定着率

+17%

単体：昨対比



AnimeJapan2025 DMM TV ブース



資生堂「開花せよ、秘めた美の力、BELIEVE IN BEAUTY.」

マテリアリティ2 社会貢献・地球環境保護

2023年に策定したサステナイベントガイドラインの活用と2024年に提供開始したイベントCO2排出量算定ツール「EventGX」によってイベントによるCO2排出量低減を目指しています。



マテリアリティ3 体験の将来性

プロモーション業務における高度化・複雑化・高速化に対応し、AIを含むデジタルテクノロジーのイベント・プロモーションへの活用を加速し、体験領域の更なるアップデートをリードします。また、社員の業務においてもAI・テクノロジーの導入を進め、業務の高度化・効率化、生産性の向上を目指しています。第49期においては、全社員対象のAI活用研修や各種AIツールの導入により、AI活用の基盤・風土ができたことで80%の社員が日々AIを活用しながら業務に取り組むようになっていきます。



全社員向けAI活用研修



社員がAIで生成した提案画像



CTC Forum 2024 AIで作る「あなたの未来名刺」

マテリアリティ4 コンプライアンスの遵守

「新しい時代の体験を創る」を実現するために、組織運営体制の見直し、ガバナンス体制の再構築を進めています。チーフガバナンスオフィサーの設置、経営層・リーダー層の研修や意識改革、外部専門家と連携した監査・制度再設計、労働制度の適正化、外部人材登用や研修による実務対応力強化など、基盤強化に向けた構造的投資を推進していきます。

Consolidated Balance Sheets

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前 期 末 (2024年6月30日現在)	当 期 末 (2025年6月30日現在)	科 目	前 期 末 (2024年6月30日現在)	当 期 末 (2025年6月30日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流 動 資 産	12,326,014	12,255,082	流 動 負 債	4,422,371	3,880,050
現金及び預金	8,452,900	8,128,004	電子記録債務	11,379	—
電子記録債権	86,586	57,428	買 掛 金	2,034,816	1,595,965
受取手形、売掛金及び契約資産	3,455,249	3,654,751	短 期 借 入 金	840,000	525,000
未 成 業 務 支 出 金	79,259	114,009	1年内返済予定の長期借入金	—	16,706
未 収 入 金	40,792	19,499	未 払 法 人 税 等	611,511	352,456
前 払 費 用	199,694	270,114	賞 与 引 当 金	31,171	31,475
そ の 他	11,531	11,323	労 務 関 連 引 当 金	—	580,000
貸 倒 引 当 金	—	△48	そ の 他	893,491	778,446
固 定 資 産	1,759,236	1,964,430	固 定 負 債	360,525	447,457
有 形 固 定 資 産	216,479	214,015	長 期 借 入 金	—	71,483
建 物 (純 額)	101,174	111,249	退 職 給 付 に 係 る 負 債	290,088	308,854
工 具、器 具 及 び 備 品 (純 額)	115,304	102,766	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	35,100	44,560
リ ー ス 資 産 (純 額)	—	—	繰 延 税 金 負 債	12,777	—
無 形 固 定 資 産	44,974	145,465	そ の 他	22,560	22,560
投 資 そ の 他 の 資 産	1,497,783	1,604,948	負 債 合 計	4,782,897	4,327,507
投 資 有 価 証 券	1,161,604	1,072,597	(純資産の部)		
保 険 積 立 金	19,655	19,765	株 主 資 本	8,752,724	9,418,711
繰 延 税 金 資 産	94,082	290,672	資 本 金	948,994	948,994
敷 金 及 び 保 証 金	194,307	193,123	資 本 剰 余 金	1,247,422	1,286,974
そ の 他	28,133	28,789	利 益 剰 余 金	8,432,833	8,973,272
			自 己 株 式	△1,876,526	△1,790,530
			そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	539,161	462,826
			そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	539,161	462,826
			新 株 予 約 権	10,467	10,467
資 産 合 計	14,085,251	14,219,513	純 資 産 合 計	9,302,353	9,892,005
			負 債 純 資 産 合 計	14,085,251	14,219,513

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

Consolidated Statements of Income

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前 期	当 期
	(2023年7月1日から2024年6月30日まで)	(2024年7月1日から2025年6月30日まで)
売 上 高	17,503,626	17,782,855
売 上 原 価	14,564,431	14,599,161
売 上 総 利 益	2,939,194	3,183,694
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	932,443	1,030,773
営 業 利 益	2,006,751	2,152,920
営 業 外 収 益	60,157	48,058
営 業 外 費 用	8,606	6,760
経 常 利 益	2,058,303	2,194,218
特 別 利 益	536	540
特 別 損 失	3,443	583,283
税金等調整前当期純利益	2,055,396	1,611,475
法人税、住民税及び事業税	727,069	664,285
法人税等調整額	△77,653	△185,012
当期純利益	1,405,980	1,132,201
親会社株主に帰属する当期純利益	1,405,980	1,132,201

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

Consolidated Statements of Cash Flows

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前 期	当 期
	(2023年7月1日から2024年6月30日まで)	(2024年7月1日から2025年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,395,211	733,134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,898	△91,441
財務活動によるキャッシュ・フロー	△678,936	△966,589
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,671,377	△324,895
現金及び現金同等物の期首残高	5,781,523	8,452,900
現金及び現金同等物の期末残高	8,452,900	8,128,004

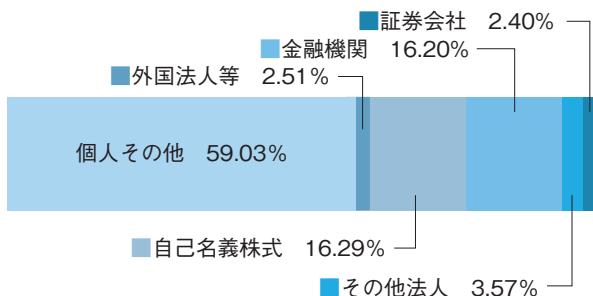
(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

Stock Information

株式の状況（2025年6月30日現在）

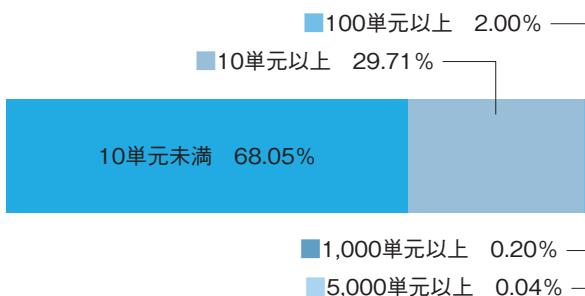
1. 発行可能株式総数 120,000,000株 | 2. 発行済株式総数 48,969,096株 | 3. 株主数 18,233名

■所有者別分布状況（2025年6月30日現在）



■所有株数別分布状況（2025年6月30日現在）

（株主数の割合を記載しております。）



（注）上記の数字は小数点第三位を四捨五入した数字となっております。

Dividend policy

50期配当方針及び配当金

基本方針

成長戦略に掲げる「クライアント」と「領域」の2軸の拡大の元、人的資本拡充及びM&Aも進めてまいります。当社の受託型ビジネスは再投資負荷が比較的小さく、自己資本蓄積が進むという事業特性も踏まえ、今後も、安定的な利益還元を重要課題の一つとして再認識し、株主様に積極的に還元していく方針とし、50期より配当方針を変更いたします。

第50期の配当

これまで、当社の配当方針・利益配分の指標として、①連結ベースの配当性向、②本決算発表日の前日の終値に株価配当利回り4.5%を乗じて算出された1株当たりの配当金のいずれか高い方、③内部留保の確保という基本方針に基づき連結配当性向換算で50%を上限とし、最低配当金として決定しておりました。第50期より、3つの指標は変えずに、それぞれの数値を見直し、最低配当金を引き上げ株主の皆様に積極的に還元してまいります。

	～第49期	第50期～
配当性向	40%	50%
株価配当利回り	4.5%	5.5%
配当性向換算上限	50%	60%

	決算発表日 前日の終値	中間	期末	合計
第49期	314円	7.5円	7.5円	15.0円
第50期	323円	(予) 9.15円	(予) 9.15円	(予) 18.30円

Corporate Profile

会社概要 (2025年6月30日現在)

商号	株式会社テー・オー・ダブリュー
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 ヒューリック神谷町ビル
設立	1976年7月6日
資本金	948,994千円
従業員	302名 (連結)
主な事業内容	<ol style="list-style-type: none">イベント、セミナーの企画、制作、施工、演出及び運営業務イベントの受託に伴う建造物、構築物の建築工事、室内装飾工事、電気工事等の実施、請負広報、広告に関する企画及び制作業務メディア及びメディアコンテンツの企画、制作、運営ならびにこれらの請負映像ソフト及び音声ソフトの企画、制作、取得、管理及び販売セールスプロモーションに関連する企画、制作業務及び展示、装飾の企画、出版セールスプロモーションに関連する広告、宣伝物及びプレミアム等の企画、製作、販売及び輸出入各種印刷物の企画、制作、出版上記(1.~8.)を組み合わせた統合的プロモーションに関する企画及び制作業務 (=体験デザイン)

■役員等 (2025年9月25日現在)

代表取締役社長	村 津 憲 一	執行役員	江 口 航 治
代表取締役副社長 チーフパナンスオフィサー 兼 グループCHRO	雨 宮 淳 平	執行役員	佐 藤 純
常務取締役兼執行役員	市 川 公 彦	CDO (Chief Digital Officer)	金 森 慎 弥
取締役兼執行役員 CFO	舩 森 丈 人	社外取締役	柳 澤 大 輔
執行役員	竹 下 弘 基	社外取締役 監査等委員	吉 川 友 貞
執行役員	川 村 悟 一	社外取締役 監査等委員	萩 原 新 太 郎
執行役員	海 老 根 俊 一	社外取締役 監査等委員	今 西 由 加

株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月中
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 https://tow.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)



TOWCO.,LTD.

株式会社テ・オー・ダブリュ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 ヒューリック神谷町ビル

TEL : 03-5777-1888

<https://tow.co.jp/>